

「床塗料シリーズ 密着!! 油まみれでも」塗装仕様

【材料一覧表】

商品名	材料	希釈
床塗料シリーズ 密着!! 油まみれでも	二液型ポリアミド硬化型エポキシ樹脂塗料	専用レデュサーを使用し、最大5%
EPLレデュサー	エポキシ専用シンナー	-

【床塗装工程 1回塗りの場合】

(20°C, 60%RH)

素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・新設のコンクリート場合、表面に付着しているエフロ(白い粉)をペーパーやワイヤーブラシで除去して下さい。 ・コンクリート表面が鏡面仕上げ(ツルツル)の場合、ペーパーやマジックロン等で目荒らしをして下さい。 ・旧塗膜が完全に剥がれ素地が露出している部分、剥がれの恐れがある部分はスクレーパー・剥離剤などで塗膜を完全に除去して下さい。 ・旧塗膜の活膜部分は、表面を目荒らして頂ければそのままでも結構です。ただし、シンナーで溶ける場合は完全に除去して下さい。 ・“床塗料シリーズ 密着!!油まみれでも”は油となじむ性質を持っていますが、可能な限り表面の油分は除去してください。(弊社製品『ハイクリン』『フェザークリン』推奨) ・表面に水分が残っている場合、バーナー等で加熱し、十分に乾燥をとってください。 ・フェロンやカラーコンクリートの場合は研磨機による表面研磨を行ってください。(※1) ・油泥などの固形化した汚れは必ず除去してください。 									
塗装	商品名	塗回数(回)	色相	混合比率(重量比)	希釈率(重量比)	塗装方法	塗布量(g/m ²) (1回塗り)	乾燥膜厚(μm) (1回塗り)	指触乾燥(※2)	最終養生(※3)
	床塗料シリーズ 密着!!油まみれでも	1	10色(カタログ参照) その他調色対応可	主剤 1 硬化剤 1	0-5%	ローラー 刷毛	300	211	3h	6h

【床塗装工程 2回塗りの場合】

(20°C, 60%RH)

素地調整	【床塗装工程 1回塗りの場合】の素地調整と同様									
塗装	商品名	塗回数(回)	色相	混合比率(重量比)	希釈率(重量比)	塗装方法	塗布量(g/m ²)	乾燥膜厚(μm)	指触乾燥(※2)	最終養生(※3)
	床塗料シリーズ 密着!!油まみれでも	1回目	10色(カタログ参照) その他調色対応可	主剤 1 硬化剤 1	0-5%	ローラー 刷毛	250	175	3h	-
	床塗料シリーズ 密着!!油まみれでも	2回目	上記同様	主剤 1 硬化剤 1	0-5%	ローラー 刷毛	300	211	-	6h

※1:フェロン、カラーコンクリートの場合は、ご使用前に電話でお問い合わせください。

※2:塗り重ねが可能な時間です。基本は1回塗りですが、コンクリート表面の状態によっては塗料を吸い込みやすい場合があります。

(例1:新設のコンクリートに直接塗装する場合。例2:コンクリートや旧塗膜の表面を削った場合 など)

その際は【床塗装工程 2回塗りの場合】の記載に従い塗装してください。

※3:人が通行可能な時間です。車やフォークリフト等の重量物の通行の際には24時間以上の乾燥時間を取るようお願いします。

※2-3:気温20°Cでの目安になります。現場環境(気温、湿度、床面の状態、など)によって、時間は前後します。

【使用方法】

- 1) 使用する前に主剤・硬化剤それぞれを電動工具で混合し、沈殿物が無くなり、粘度が均一になるまで攪拌して下さい。
- 2) 主剤と硬化剤を重量計で規定の割合(1:1)で計測し、攪拌機等で3~5分よく混ぜ合わせて下さい。
- 3) 希釈は推奨しておりませんが、作業状況に応じて5%を限度に当社EPLレデュサーを使用し希釈してください。
- 4) 塗装はローラー・刷毛を使用してください。コンクリート素地に押し付けて、塗料が表面にしっかり入り込むように塗装してください。
- 5) 滑り止め(ノンスリップ)加工を行う場合は、塗料の重量の20%を目安に珪砂を入れてよく混ぜます。珪砂は4~5号、ローラーは中毛以上が推奨です。珪砂は沈殿しやすいため、塗装する際はバケツ内の塗料をローラーでよく攪拌して下さい。珪砂を入れた場合、塗布量が1~2割程度増加します。
- 6) 使用後の容器・工具類は専用レデュサー又は洗浄用シンナーで洗浄して下さい。

【使用上の注意】

- 1) 天候の良い日を選び、被塗面に結露(水分)が無いかを確認してから作業をするようにして下さい。(気温5°C以上、湿度80%以下)
水分があると塗膜表面のツヤ落ち(白化現象)の原因となります。気温が極端に低い(5°Cを下回る)場合、硬化不良を起こす可能性があります。
- 2) 塗料は常温で1時間(夏場30分、冬場2時間)以内で使い切れる量を混合して下さい。時間が経って粘度が上がった塗料を希釈するのはお控え下さい。
- 3) 希釈には弊社のEPLレデュサーを御使用下さい。他社のエポキシシンナーを使用されると、塗料の分離や硬化不良の原因となります。
- 4) 屋外および日光にさらした場合、黄変、色あせ、チョーキングが起こる場合がありますが、密着性に悪影響を与えるものではありません。
- 5) 低温時(気温5°C未満)では、主剤と硬化剤の反応が極端に遅くなり、べた付きや色分かれの原因になる場合がございます。
その場合は、主剤と硬化剤を混合した後、15分以上の熟成時間(反応させるために混合容器内で放置する時間)を置いてから塗装してください。
熟成が進み過ぎて粘度が上昇し、塗装し難い場合はレデュサーを5%程度混合してください。

株式会社 染めQテクノロジー

〒306-0313 茨城県猿島郡五郷町元栗橋5971

TEL.0280-80-0005 (代) FAX.0280-80-0006 (代)

E-mail:support@somayq.com http://www.somayq.com

2019/10/03 改定